

情報交差点・心と心の交わり

あじま〜

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

みんな大好きシークワサー
おいしい給食いただきます♪

幼・小・中でシークワサー給食



昨年制定された9月22日のシークワサーの日を記念し、村の畑で獲れたシークワサーを使った給食が20日（木）、村の子ども達に振る舞われました。

この日のメニューは麦ごはん、さんまの塩焼き（シークワサー添え）、ひじきのあえ物、冬瓜の汁、中学生が開発したシークワサー酢を使ったシーちゃんゼリー。

さんまの塩焼きにシークワサーをかけ、絞った汁をなめながら「酸っぱ〜い!!」、「ちょっと甘い??」などと感想を言い合って盛り上がる1年生たち。みんな夢中になりさんまを食べていました。

1年生の平良瑠子さんは「さんまが一番おいしかった。シークワサーをかけた方がおいしい♪」と笑顔で答えてくれました。

おいしいメニューが盛りだくさんのシークワサー給食。デザートシーちゃんゼリーまで心ゆくまで楽しみました。



ゼリーもおいしい♪

ホッと

村内のホッと活動をご紹介します♪

大宜味人の する話

このコーナーでは地域の方々が取り組んでいるさまざまな活動を紹介していきます。紹介してほしい活動などあれば教育委員会までご連絡ください。

「好きなら人のやれない事を最後までやろう」

大宜味中学校が結の浜に移転して今年で3年目を迎えました。1年目は小・中で授業の初めと終わりのベルが数分ごとに4回鳴り、しばらくは戸惑いがみられ、昨年からは生徒会と「ベルなしで行動してみよう！」と相談しノーチャイム行動が始まりました。今では何の戸惑いもなく、職員自ら5分前行動を心がけ、生徒も遅刻もなく落ち着きました。また、学校の全ての行事も指示待ちではなく自ら進んで行事をこなしているそうです。

それらの積み重ねが久志駅伝や運動会、地区陸上でも力を発揮しています。ソフトテニスの全国大会出場を筆頭にバレーボールでの準優勝も見事で、夏休みの猛暑の中での練習も雰囲気もよく、先生方からも素晴らしい評価を受けました。

地域活動でも中学生の活躍が光りました。

特に今回紹介したい生徒は現在中学2年生の宮城敏伍さんです。

エイサーをやりだしたのは2才の誕生日に母に買ってもらったパーランクーがきっかけ。琉球国祭り太鼓の見学にも行き、その後から毎日DVDを見続け踊っていたそうです。大人の中に混じって、体の倍もある太鼓を片手に持ち、踊る敏伍さんの姿を見て不思議に感じた村民の皆さんも多かったのでは？

3歳からはお父さん、叔父さんと一緒に青年エイサーの部落回りや国際通りで行われる1万人エイサーに参加するようになりました。部落回りでは大人顔負けで踊る小さな少年を探す楽しみもあったと思います。体の成長とともに踊りもますます勇ましくなり、見た目も青年と変わらなくなった現在もエイサーを続けています。中学校入学後は部活動や学校行事と重なり参加することが少なくなりましたが、今でも太鼓・三線・指笛の音が大好き。

これからも学習やスポーツも両立し、地域の行事に進んで参加してくれることを期待します。

平成30年10月1日 吉田 春子



3歳の頃
(1万人エイサーにて)
現在の敏伍さん↓



今年度もおおぎみ展と同時開催!! 第23回 しまんちゅ芸能

開催日時：平成30年11月4日（日）午後4時～

会場：村農村環境改善センター（2階ホール）

年に一度の芸能祭…

出演者の演舞・演奏を見て趣味を広げるキッカケにしてみませんか？

多くのご来場お待ちしております。

お問い合わせ：大宜味村教育委員会 ☎44-3006



琉球大学サテライト配信

「星空案内人 養成講座 in Okinawa」

あなたも星のソムリエになって、沖縄のほしぞらの魅力を地域の子どもたちに伝えませんか？

場所：道の駅おおぎみ 2階 農村活性化センター

日時・内容：・10月6日（土）14:00～16:00

講義科目「望遠鏡のしくみ」（講師：花山秀和・堀内貴史）

屈折望遠鏡、反射望遠鏡の原理、仕組、操作方法について学ぶ。

・11月10日（土）14:00～16:30

講義科目「宇宙はどんな世界」（講師：花山秀和・堀内貴史）

宇宙にあるいろいろな天体や、宇宙の歴史について学ぶ。

・11月17日（土）14:00～16:30

講義科目「星空の文化に親しむ」（講師：通事安夫・田端研二）

世界中にはさまざまな星の文化があり、それらについて学ぶ。

☆すべて受講料は無料です！

お申込み・お問い合わせは琉球大学コミュニティキャンパス事業本部まで

TEL：098-895-8085（平日8:30～17:15）

参加者募集



参加者募集

おおぎみ展会場にて同時開催！！

平成30年度 公民館講座「歩いて知ろう、大宜味集落」

知っているようで実は知らない地域のコト、モノ、場所。

よんな～歩いて、ゆんたくしながら地元の魅力を、再発見してみませんか？

今回はおおぎみ展が行われる大宜味集落近辺を地元の方と散策します。

日時：2018年11月3日（土）13:30～15:30（約2時間）予定

集合場所：旧大宜味小学校

対象：村民または大宜味村に興味のある方

定員：先着10名 定員になり次第締め切り

※当日も募集しますが、事前に申し込みの方が確実です

服装：動きやすい格好、靴 ※運動靴がおすすめです

参加費：無料

申込方法：大宜味村教育委員会（0980-44-3006）までお電話にてお申込みください。



大宜味小学校・中学校 第3回大運動会

小学校テーマ：笑顔輝かせ、150の絆！ 努力・全力・本気で一致団結

中学校テーマ：最高の仲間と最高の絆 記憶となれ！この瞬間 ～We Can Do It～

真っ直ぐゴールを目指せ！

かけっこ (1, 2年生)



1年で成長！走りも安定2年生

親子リレー



俺が巻き返す!!

組体操



見よ！我らが勇士!!

組体操 大成功!!!



流行のダンスで魅了♡

組体操・千変万化



弾ける笑顔!

リズムダンス

弾けきってます



リレー (5, 6年)

接戦!!!



9月16日（日）、大宜味小中学校において大宜味小学校・中学校第3回大運動会が行われました。

小学校初めての運動会でドキドキの小学1年生からこれが最後となる中学3年生まで児童生徒一人一人が自分の種目や役割を全うし走って、踊って、協力して、会場を盛り上げてくれました。

中学校男子の組体操では今年初めて挑戦した人間起こしの成功に大きな歓声があがり、男子全員で挑んだ6段のピラミッドも圧巻でした。さんさんと照る太陽に負けないくらいどの学年も笑顔いっぱいキラキラした運動会となりました。

フォークダンス



初々しい1年生♡



みんなで踊ろう

楽しんだもの勝ちしょ♪

楽しさ伝わる可愛いダンス♪

リレー (3, 4年)



玉入れ・ダンス



ここかれ勝負の時間です…



お見事!!



兄弟対決!?

偽アンカー参上!



獅子舞



迫力満点

空手



1年石垣希里斗くん

総力リレー



俺に任せろ!



エイサー



新しい隊列にも挑戦！一人一人がやり切りました!!

深読み大宜味村史20（最終回） その他（大宜味・大兼久の行事から）

大宜味村史は昭和42（1967）年に村史編集委員会が発足し、委員長宮里金次郎、委員に山川元康、大山茂一、宮城福市、親川富二、宮城倉栄、宮城倉啓、大嶺福一、大城真秀、編集担当として山川岩美（編集責任者）、金城功、宮城長信、大城将保、平良幸七（写真）の諸先輩方によって編まれ、12年の歳月をかけて昭和53（1978）年に資料編、同54（1979）年に通史が発刊されている。通史・資料編を合わせて1,100余ページにも上る村史編さんの基になった資料をめぐってみると、興味深いものが沢山あり、その中の『村史編集史料 各字の資料（山川元康メモ）』から順次紹介している。なお、当時の言い回しや仮名づかいの味わいを残しつつ、判読不能の文字は□に置き換え、分かりづらい表現は（）内に補足を加える等、内容に大異が生じない程度に編集した。なお、年代、年齢などは1967年当時の表記であることにご留意願いたい。

ス（シ）バサシ 旧8月8、9、10日の3日間、家々ではシバを差して厄払いをし門にはホーキを立てる。

コーチャク、爆竹を鳴らして厄払いをした

タマガイ（人魂） タマガイが出た家はこの1年以内に凶が有るとの前ぶれであるといわれた。

また、人の泣き声かしたり棺桶を造る音がしたり群集の足音のざわめき等の怪現象が現れるという

ブナガヤホイホイ タ方子供達は区の事務所前広場（ウモイ）に集まってホラ貝（ブラー）を鳴らし太鼓を叩いて

大きい者から順番に並び部落内を巡回する。「ブナガヤ ホイホイ」と連呼しながら木刀（ユーナの木で造る）

やナギナタを各人持って古い大木の根を叩きながら廻る（屋号松下のみかん木等）。部落中を1巡すると

又元の集合場所に戻り、ユーナの太刀を使った一対一の試合を行なふ（太刀も折れるほど真剣そのものであった）

（※現在、大宜味区にブナガヤホイホイが伝えられている）

アラミ メンバーには4、5人1組で掘立小屋を造り夜中物（お菓子等）を持参してタマガイを見る為に寝ずの番

をした。小屋は破風建てでパショウ葉で屋根を葺きフー土で周囲を固め雨水が寝床に入らぬように2、3日かかり

りで造った

伊江島ハンドグラーの遺念火 伊江島ハンドグラー（の魂）もその時に鏡地辺りから伊江島への旅に出るとの

ことで見に行ったものだ

アラミの廃止 昭和4、5年頃大山岩蔵校長の時代に、こう云ふ事は迷信であり児童生徒も夜ふかしして学習上又

風紀上良くないとの事で廃止となる。大人達も一緒に酒を飲みながらアラミをして居った。ランプ生活の時代で

あり全戸ランプを消燈させて明りがなくなると月が落ちる頃からタマガイは出ると言われた。懐中電灯もその頃

から出てそれを持って道を歩く人も居るようになったので次第にアラミの行事も無くなっていった

家の新築祝 神ン人 ノロ、根神 4～5人位 白衣装で白鉢巻を長々たらし家周囲を右から左へ（時計の廻り

と反対に）太鼓を叩き乍ら「エーホイエーホイ」と繰返し乍ら7回廻る。終ると家の中座に座ってオモロで御願

をする（米、酒、ウチャヌク）

新築のオモロ 山の広がりや 松とガヂマルと 国の広がりや 産子繁盛

ウシクガヂマルや 石垣ど持てる なし子だち持てん くまぬ殿内

カリー節 ふんしもとみやい 屋敷までくぬで うち廻い廻い 玉の屋敷

十尋家に居てん 八尋家に居てん 肝と肝やゆど アヂん下人

根引き（結婚式）の歌

玉黄金産子 里親にやらち 里親の母 思てとらち／銀嫁でむぬ 黄金嫁でむぬ これゆかん深く

思いどさびる／今年今年や ご婚礼のお祝 明けて今年や 産子繁盛

墓の新築祝いの歌（御前風の節）

土んひき美らさ 石ん石美らさ ふんし松金ぬ いちえる美らさ／なんざ森くしやて くがね森前なち

ふんし松金ぬ 向けぬ美らさ／真茅かやぶきや 仮宿るやゆる ふんし松金や 末代までん



村史編さんだより

第90号 2018年10月1日 大宜味村村史編纂係44-8009 Eメール:sonshi@vill.ogimi.okinawa.jp



平成30年度 第1回村史編さん委員会開催



平成24年度から村史編纂事業がスタートし、26年度までに『わーけーシマの宝物』、『戦争証言集 渡し番』の発刊、27年度から編纂委員の顔ぶれを一新、29年度までに『シマジマ本編』、『移民・出稼ぎ編』、『民俗編』の発刊と、これまで5冊の村史を発刊することができました。

9月26日、今年度第1回となる村史編纂委員会が開催されました。今回、委員の任期満了を迎えるに当たり、全委員が継続して大宜味村史編纂に携わることが確認され、村長による委嘱状交付が行われました。任期は平成33年9月までとなっています。

その後、事務局から『言語編』、『人と自然編』の進捗状況の説明を行い、発刊計画については、『言語編』31年度、『人と自然編』32年度発刊を目指すという方針を進めていくことを確認しました。

村民の皆さまには引き続き調査協力・資料提供などでお世話になると思いますので、ご理解ご協力をよろしくお願いたします。



▲会議の様子



▲辞令交付の様子



- ～大宜味村史編纂委員会 委員紹介～
- 委員長 米須 邦雄（大宜味村教育長）
 - 副委員長 前田 國男（村文化財保護審議会委員）
 - 委員 仲原 弘哲（今帰仁村歴史文化センター元館長）
 - 委員 当山 昌直（県教育庁文化財課史料編集班）
 - 委員 平良 次子（南風原文化センター学芸員）
 - 委員 安座間 安史（元迎土名高校校長）
 - 委員 安良城 米子（元沖縄国際大学非常勤講師）

『人と自然編』 聞き取り調査報告！



▲調査の様子（大兼久）

9/19（水）午前：大兼久 午後：大宜味（共に1回目）
9/20（木）午前：謝名城 午後：田嘉里（共に3回目）
の日程で、『人と自然編』聞き取り調査を行いました。7月から開始している謝名城・田嘉里は今回3回目（最終回）ということもあり、皆さんリラックスした様子で参加していただきました。3回目の調査項目は「動物」ということで、ほ乳類・鳥類・両生類・昆虫・海山川の生き物についての質問をしました。ジュゴン方言でサン（謝）、ナークウ（田）など隣同士の字でも違っていたり、謝名城では犬や猫を食べたが、田嘉里ではあまり食べていないなどの違いが見られました。

初調査の大兼久・大宜味では「植物」についての聞き取りが行われ、両字とも海に近いだけあり、スナズル（方言：ハンサ）を網がわりに使い子供達が魚をとった、イジュ（方言：イージュ）の皮を利用して、干潮の時に潮だまり（大兼久ではキシワソルー）まで行ってササ（魚毒漁）を行った一などのエピソードが聞かれました。

忙しい中、調査に参加していただきありがとうございます。引き続き、ご協力よろしくお願いたします。



▲調査の様子（大宜味）



▲最終回は全員で記念撮影♪（謝名城）



▲ご協力感謝いたします♪（田嘉里）



「しまふとうば」ぬくとう 32



去った9月15日に西原町で開催された「第24回しまくとうば語やびら大会」に うみがーみー 聞く側として参加した。県内各地域と外国からの参加者も含め18組20名の話者が登壇した。改めて「しまくとうば」の多様性を感じさせられた。北部の代表として今帰仁村の方が語っていたが、大宜味のことばとの違いが明らかであった。もっと狭い範囲の大宜味村内でも例えば喜如嘉と津波でも明らかな違いがある。広い範囲での宮古、八重山、与那国等のことばは聞いただけでは殆ど理解できない。「しまくとうば」の多様性はそれぞれの地域の文化の多様性につながる。それぞれの地域で営まれている生活様式や神行事、芸能等は実に多様である。地域の文化はその地域のことばで表現される。「しまくとうば忘しーねー ……しまん無んなーん」と言われる所以であろう。

今回の大会は日本語の字幕が付いていた。字幕があることによって話者の語る意味が理解しやすいのはいいことだと思うのだが、ミスマッチも生じる。字幕があると観客の目、顔は話者よりも字幕に向かう。話者の表情が見えなくなったりする。さらに「笑い」のある場面では字幕を見て笑うために話者の表情を見ないままに、語り終えないうちに笑いが先行するということが起こってしまった。以前は話者が書いた原稿と日本語に訳した資料が配布されていたのだが・・・字幕の良し悪しは議論が必要であろう。

今回新たな発見？があった。京都府在住のウクライナの方も参加していたのだが、彼のウチナーグチの先生はインターネットとのことである。遠いウクライナにいてウチナンチュからではなくインターネットでウチナーグチを勉強したとのことある。ウチナーグチは言語として世界中でネットで学んでいる人たちがいるということに驚き、感心するとともに心強くも思った。三線やエイサー等が日本中に広がっているように「ウチナーグチ」は世界に広がる日が来るのかもしれない、とも感じた大会であった。

2年前の「世界のウチナンチュ大会」にブラジルから来られた方が、空港でタクシーに乗って「…までい う願げーさびら」とウチナーグチで行く先を告げたら運転手が日本語で返したことにショックを受けたという話題もある。

どうなーから はまてい しまふとうば ちけーらんでー やーをおー



今月の生きもの



コノハチョウ：タテハチョウ科

みなさん、こんにちは♪ あれ？今月の生きもの葉っぱ？
ついにネタがなくなっちゃったの？って…。みなさんをうまく騙せたようですね。私、コノハチョウです。その名の通り、木の葉みたいなチョウなんです。といっても、翅の表面は青とオレンジでとても鮮やか、地面に降りたり葉っぱの上に降りたりする時は翅を広げて止まるからかえって目だったりして。だって、村のチョウになるくらい綺麗なんですもの。自慢したくなっちゃうよね。

10月の行事予定

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1日（月）区長会 幼稚園振替休日 | 20日（土）国頭郡ミニバスケットボール交歓会 |
| 6日（土）第7回辺高祭 | 生涯学習講座 |
| 8日（月）体育の日 | 10月18日 |
| 12日（金）幼小中一斉授業参観日 | 21日（日）国頭郡陸上競技大会 家庭の日 |
| 13日（土）わんぱく体験団⑤～14日 | 25日（木）定例教育委員会会議 |
| やましし運動会（塩保） | 26日（金）食育研究発表会（大小） |
| 14日（日）大宜味一心会親睦大運動会 北谷町 | 28日（日）村老人・婦人合同スポーツ大会 |
| | 31日（水）海外短期留学報告会 |

